

恋愛未経験の不器用な小説家が初めての恋に大奮闘！
Brillia の一室で繰り広げられる心温まるラブストーリー
WEB 動画「PUZZLE ROOM」が 9 月 4 日（月）より公開
～ショートショート フィルムフェスティバル & アジアで
「Brillia NEW LUXURY アワード」を受賞した古波津監督渾身の一作～

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）は、Brillia のマンションを舞台にした WEB 動画「PUZZLE ROOM」を 9 月 4 日（月）より Brillia.com 内の特設サイトにて公開致します。



URL: <http://brillia.com/brillia/topics/puzzle-room/>

■ “人生にまで赤を入れる！？” 不器用な小説家と女性編集者の恋愛模様を描く WEB 動画が本日公開
マンションの一室を舞台に繰り広げる笑いあり、感動ありの 15 分間

本日から公開の WEB 動画「PUZZLE ROOM」は、Brillia のマンションの一室を舞台に、恋愛小説家と編集者の恋愛模様を描く約 15 分間のショートフィルムです。今回の WEB 動画の監督には、アジア最大級、日本で唯一の米国アカデミー賞公認国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2016※」で、「Brillia NEW LUXURY アワード※」を受賞した若手で実力派の古波津 陽監督を起用しています。また、WEB 動画に出演するキャストには、演劇界の実力派俳優の中田顕史郎さんをはじめ、映画や舞台で活躍する今村美乃さんに出演していただいています。

本ストーリーは、恋愛に不器用な売れっ子小説家のもとへ、入院中の担当者の替わりとして、女性編集者が訪れるシーンから始まります。原稿の赤入れやダメ出しをするなど、自由奔放に振舞う彼女に対して、当初辟易していた小説家。しかし、いつの間にかそんな彼女に惹かれていき、恋愛小説の舞台にしていた自らの部屋も彼女のために変えていってしまいます。様々なピースが織り成す「暮らし」というパズルが、二人の恋愛模様を通して描かれています。

二人の心情の変化とともに彼らを包む空間も自然と移り変わっていく様子が描かれ、「上質さ、豊かさ」を追求する Brillia ブランドが打ち出す「NEW LUXURY（得がたい心地よさ）」というコンセプトが伝わるような心温まるストーリーです。不器用な小説家が人生初めての恋に奮闘する、笑いあり感動ありの約 15 分間を是非お楽しみください。

【ストーリー】

売れっ子恋愛小説家の白倉ゆきのもとへ、入院した担当者の替わりとして、女性編集者の三田明日香がやってきた。しかし、実は白倉ゆきの正体は女性ペンネームを使った熊坂大吾という男性で、女性編集者が大の苦手。しかも恋愛小説家でありながら恋愛経験はゼロ。自分とは性格が正反対の明日香にペースを乱され、動揺する大吾だが、自由奔放な彼女の振る舞いに次第に惹かれ、小説のモデルにしていた自慢の部屋さえも彼女のために変えていってしまう。明日香のことで頭がいっぱいになり小説が書けなくなってしまった大吾のとった行動とは…



▲ペンネームだけじゃない! 小説家白倉ゆきが暮らすマンションに隠された企業秘密とは・・・。



▲自由奔放な明日香にペースを乱され、大暴走する白倉先生に思わず笑みがこぼれます。

【撮影エピソード】

撮影は古波津監督のクランクイン時の言葉通り、現場は笑いに溢れ、終始和やかに進みました。特に重要なシーンとして力を入れていたのは、明日香が大吾の原稿に戻しを入れるシーン。実際に白倉先生役の中田さんに短編の恋愛小説を執筆させ、明日香を演じる今村さんがお戻しを入れる「お戻しリハ」を実施するほどの徹底ぶりでした。小説家や編集者という自身が演じる仕事を理解し、また、書いた小説を戻されてしまう感情を経験したことが、実際の演技にも活かされています。同様に、中田さん演じる大吾がダンスをするシーン（第3話）は、振付師の監修の元、19テイクもの撮影が行われ、キレのある完璧な動きに仕上がっています。

また、大吾が書く恋愛小説の主人公、土方 龍二役の小野 健斗さんは、大吾の描く空想内でバラの花を食すシーンなど体を張った難しいシーンの撮影に気合い十分でした。撮影の合間にロケ地でもあるBrilliaのモデルルームについて、「なかなか入れる場所ではなく、テンションが上がる、探検したくなる」とコメントしてくれました。

クランクアップ時の古波津監督の挨拶では、どうやったら観る人が楽しめるか役者さんが魅力的に見えるかを最後まで全員で追及することが出来たと嬉しそうな表情で語り、演者や製作陣の団結感が感じられました。



【WEB 動画「PUZZLE ROOM」概要】

- タイトル : 「PUZZLE ROOM」
- 映像尺 : 15分20秒
- 公開日 : 2017年9月4日(月)
- 動画URL : <http://brillia.com/brillia/topics/puzzle-room/>
- 公式HP : <http://brillia.com/>



【監督・出演者プロフィール】

■古波津 陽(こはつ よう)監督

1973年東京都生まれ。日本映画学校中退後、グラフィックデザイナー、ショートフィルム製作を経て2009年に段ボールで25mの城を建てる戦国武将の物語「築城せよ!」(主演:片岡愛之助)で長編劇場映画デビュー。密室スリラーの「JUDGE」から、「be ポンキッキーズ」などの子供番組、長編ドキュメンタリーやホームドラマ、イリュージョンまで、ジャンルを超えて作品を生み出している。
HP: <http://no-work.com>



■中田 顕史郎(なかた けんしろう): 小説家 白倉 ゆき(熊坂 大吾)役

1966年兵庫県生まれ。解散した劇団「青空美人」の看板俳優。小劇場では数少ない、壮年の主演からバイプレイヤーまでを演じることのできる貴重な俳優。近年の舞台出演作はミナモザ、空想組曲、鶴的、DULL-COLORED POPなど。2016年度のサンモールスタジオ年間最優秀男優賞を受賞。また1990年頃からコンテンポラリーダンス作品のドラマタッグを担当し、近年は演劇作品のドラマタッグも多数担当。中でも、ミナモザの瀬戸山美咲とつくる作品は岸田戯曲賞や読売演劇大賞にノミネートされている。



■今村 美乃(いまむら よしの): 編集者 三田 明日香役

1987年熊本県生まれ。4人兄妹の末っ子。高校在学中に、熊本PARCOのポスターモデルを3年間務める。大学進学を機に上京。劇団「新宿梁山泊」を中心に演劇活動を開始。2014年、女優仲間たちと劇団「激嬢ユニットパス」を結成、現在に至る。最近では入江悠監督作「22年目の告白-私が殺人犯です-」や吉田大八監督作「美しい星」など映像作品にも多数出演。



■西山 聡(にしやま さとし): 編集者 山口役

1975年福島県生まれ。身長160センチの小さな体から放たれる小気味いい演技で、子供の無邪気さと男の哀愁を兼ね備え、だれからも愛される小動物のような俳優。演劇ユニットローカルトークスの作・演出を手がけ、男にまつわる重喜劇的な物語を良質なグルーブ感で表現し、ファンを増やしている。最近ではTVドラマ、映画出演の他、ラジオドラマの脚本も執筆。



■小野 健斗(おの けんと): 土方 龍二役

1989年神奈川県生まれ。2006年「ミュージカル・テニスの王子様」の柳蓮二役で俳優デビュー。NHK大河ドラマ「功名が辻」では徳川頼房役で出演。テレビ朝日系「天装戦隊ゴセイジャー」でハイド・ゴセイブル役を演じた。最近ミュージカル「薄桜鬼」や「おそ松さん on STAGE ~SIX MEN'S SHOW TIME~」など舞台を中心に活動を広げ、2017年後半は「Fate/Grand Order THE STAGE -神聖円卓領域 キャンペロット-」「煉獄に笑う」や「K-MISSING KINGS」の公演が控えている。



【スタッフリスト】

監督	古波津 陽
脚本	川手 ふきの
音楽	小林 洋平
撮影	百束 尚浩
照明	佐藤 宗史
録音	小林 武史
美術	大槻 真子
メイキング	高瀬 秀芳
スチール	久保田 智
助監督	田中 惇也
プロデューサー	奈良 太一 村岡 大介 前畑 祥子

【Brilliaについて】

創業 120 周年の東京建物が展開する、住まいと暮らしのトータルブランド Brillia。

我々は、Brillia を単なるマンションブランドではなく「住まいと暮らしのトータルコミュニケーションブランド」として位置づけ、リノベーション・管理・中古売買などにおいても、「Brillia」クオリティを提供して参ります。「洗練」と「安心」を住まれる方に届けるため、これからもあらゆる英知と経験を Brillia に結実させて参ります。

【企業概要】

会社名	: 東京建物株式会社
設立日	: 1896 年 10 月 1 日
代表者	: 代表取締役 社長執行役員 野村均
資本金	: 924 億円
本社所在地	: 東京都中央区八重洲一丁目 9 番 9 号 東京建物本社ビル
TEL	: (03) 3274-0111 (代表)
会社 URL	: http://www.tatemono.com/
事業内容	: オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸及び管理、マンション等の開発・分譲など

※ショートショート フィルムフェスティバル & アジアについて
米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。代表は俳優の別所哲也。1999 年に東京・原宿で誕生し、これまでに延べ 38 万人を動員。グランプリ作品は、次年度の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象となるなど、世界に羽ばたく若きクリエイターを SSFF & ASIA は応援しています。

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

※Brillia NEW LUXURY アワードについて

Brillia がショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2016 で設定したアワード。Brillia ブランドが打ち出す“NEW LUXURY”というコンセプトを体現するショートフィルムに授与されました。